

令和元年度
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書
(平成30年度対象)

真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり

令和元年11月
寄居町教育委員会

目 次

I	趣旨	2
II	点検・評価の基本方針	2
III	点検・評価の結果	3
	「第6次寄居町総合振興計画基本構想」における基本方針及び基本施策	
・	[成長と学びの環境の充実] 学校教育と教育環境の充実	4
・	[成長と学びの環境の充実] 生涯学習環境の充実	15
・	[成長と学びの環境の充実] スポーツ環境の充実	19
・	[成長と学びの環境の充実] 青少年の健全育成	22
・	[活躍の場の充実] 多様な人の活躍・地域貢献活動の支援	25
・	[活躍の場の充実] 地域間交流・国際交流の推進	26
・	[一人ひとりを尊重する地域づくり] 人権尊重と相互理解の促進	27
・	[歴史の継承、文化の振興] 歴史資源の保護・継承	29
・	[歴史の継承、文化の振興] 伝統文化の継承	32
・	[歴史の継承、文化の振興] 文化活動の充実	32
・	[自然資源の保全・継承] 自然環境の継承	35
IV	結びに	36

I 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

寄居町教育委員会では、同法に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、「教育委員会の事務に関する点検・評価」（以下「点検・評価」という。）を実施し、報告書にまとめました。

II 点検・評価の基本方針

「第6次寄居町総合振興計画基本構想」が、2017年度から2026年度（平成29年度から令和8年度）を計画期間として、これからの地域社会や行政サービスのあり方を示し、町民と町がともに目指すまちづくりの目標を掲げ、ともに取り組むことのできる総合振興計画として策定されています。寄居町教育行政の主要施策もこの中に掲げられています。これをもとに教育委員会では、「真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり」を基本的な理念として、次の5つの教育行政重点施策に取り組みました。

1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進
2. 豊かな心と健やかな体の育成
3. 教職員の資質向上と教育環境の充実
4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進
5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進

点検評価は、「第6次総合振興計画基本構想・前期基本計画」に掲げられた基本施策の取り組みの内、教育委員会で取り組んだものに上記5項目を当てはめて実施いたしました。

なお、この点検評価に当たっては、学識経験を有する方から意見・提言をいただきました。

Ⅲ 点検・評価の結果

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「成長と学びの環境の充実」

【学校教育、生涯学習、スポーツを通し、豊かな心と人間性・創造性を育てる環境を整えます。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

- 「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」
- 「2. 豊かな心と健やかな体の育成」
- 「3. 教職員の資質向上と教育環境の充実」
- 「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」
- 「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

施策1 学校教育と教育環境の充実

取り組みー1 確かな学力の育成

- ・ 真の学ぶ力を身につけ、自らの未来を切り拓くことができるよう、基礎的な知識、技能はもちろん、学ぶ意欲や思考力・判断力など、確かな学力の育成のため、次の取り組みを行いました。

なお、学校においては、アクティブ・ラーニングを取り入れた指導方法の充実を図り、児童生徒が主体的な学び、対話的な学び、深い学びができる授業に努めました。

① 放課後サポートスクール事業

教員経験者や教員免許所有者を放課後サポーターとして小学校6校に30名配置し、また、授業との接続を図り、児童の理解度を把握した上で指導し、きめ細かな指導を行うことができました。

放課後サポートスクール事業実施状況

	平成 30 年度	平成 29 年度	増減
実施回数	28 回	29 回	△1 回

② 土曜サポートスクール事業

中学校 3 年生対象の土曜塾では、早い時期から学習意欲を喚起し、学習習慣を定着させるため実施回数を増加するとともに、4 月上旬実施の春塾や、5・7 月実施の中間・期末テスト対策講座を実施しました。参加生徒の割合は、中学 3 年全生徒数の 3 割以上となり、そのうち 98% の生徒が希望校に合格しました。

③ ハイパー Q U テストの実施

全児童生徒を対象に学級満足度や学校生活意欲度を把握するためのテストを実施しました。それにより、客観的な視点から児童生徒を理解することで、具体的な支援を行うことができました。

④ 学力向上推進委員会の取り組み

学力向上推進委員会を 5 回開催し、各校の情報交換を行うとともに、学力向上に向けて手立てを話し合うことができました。

取り組みー 2 英語教育の推進

- ・ グローバル化に対応できる英語教育の推進のため、次の取り組みを行いました。

① 外国語指導助手（A L T）派遣事業

小学校では、担任教員が A L T を効果的に活用して授業を進められるように各校から 1 / 3 の教員が参加する外国語活動研修会や英会話研修を実施しました。担任教員の外国語活動の授業や A L T との関わり方に対する意識を変えるきっかけとして、効果がありました。

② 中学校英語検定無償化事業

中学 2 年生には 1 月に、中学 3 年生には 10 月に、それぞれ英語検定の受験費用の全額を町が負担しました。この結果、英検受検者の割合が、前年度と比較して 2 年生は 19.3pt 増加しました。

また、この事業を利用して英検 3 級以上を取得した生徒の割合は、3 年生が 11.8%、2 年生が 3.6% で、いずれも昨年度と比較して増加しました。

学年	区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	増 減
3 年	受検率（対全生徒数）	46.8%	54.0%	△7.2pt
	3 級以上取得率	16.8%	23.6%	△6.8pt
	うち無償化事業による者	11.8%	8.5%	3.3pt
2 年	受検率（対全生徒数）	78.1%	58.8%	19.3pt
	3 級以上取得率	7.9%	8.0%	△0.1pt
	うち無償化事業による者	3.6%	2.4%	1.2pt

取り組み－3 小中一貫教育の推進

- ・ 中一ギャップの解消や学びの連続性による学力向上を目指し、小中一貫教育の具現化のため、次の取り組みを行いました。

① 小中一貫教育推進計画の作成

中学校区ごとに目指す子供像を決定して共有し、事業計画を立て小中一貫教育に取り組みました。教職員の交流として小中合同の研修会や、中学校英語教員による小学校5・6年生への授業などを行いました。

取り組み－4 健やかな体づくり

- ・ 健やかな体づくりのため、次の取り組みを行いました。

① 部活動支援員の配置

専門的な技能を有する支援員5名を3中学校に配置し、放課後や休日の活動を支援することで、部活動の一層の充実と教職員の負担軽減を図りました。

部活動支援員の活動状況 (単位：日)

学校名	寄居中学校	城南中学校		男衾中学校		合計
部活名	ソフトテニス	剣道	ソフトテニス	サッカー	ソフトテニス	
活動日数	71	21	35	22	50	199

② 体力向上推進委員会の取り組み

体力調査の結果では、平成20年度より11年連続で小中学校総合得点が埼玉県トップレベルとなりました。また、体力向上推進委員会の健康教育部会において、朝食摂取率の向上を目標に掲げて取り組み、朝食の重要性について啓発を図りました。

③ 校庭芝生維持管理事業

平成29年度に校庭芝生化工事を行った男衾小学校と、平成30年度に校庭芝生化工事を行った寄居中学校において、県の補助金を活用し、校庭芝生維持管理事業を委託しました。

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
男衾小 寄居中	校庭芝生維持管理事業委託	校庭芝生の散水、刈り込み、 施肥、除草、補修・目土、刈 芝処分、排水作業	1,080

取り組みー5 インクルーシブ教育の推進

- ・ インクルーシブ教育推進のため、次の取り組みを行いました。

① 教育委員会事務局事業

教育サポートセンターでは、幼稚園・保育所と小学校の円滑な引継ぎを図るため、相談員が年2回、定期的に幼稚園や保育所を訪問し、就学前の児童の情報を収集して各学校に提供しました。

また、電話相談や来所相談を行い、子供の発達に関することや、子育てに関する保護者の悩みについての相談に応じました。

教育サポートセンター相談件数 (単位：件)

区分	平成30年度	平成29年度	増減
電話相談	247	184	63
来所相談	62	156	△94
合計	309	340	△31

② 学校サポーター事業

通常学級において配慮を要する児童生徒への学習支援や特別支援学級の児童生徒、病気等により肢体が不自由な児童生徒への学校生活に対する支援を行うため、学習支援サポーターを28人、介助サポーターを13人配置しました。

③ 特別支援教育事業

臨床心理士や教育サポートセンター相談員、さわやか相談員やスクールカウンセラーと連携して41人に対しWISC検査を実施しました。それにより児童生徒の特性を客観的に把握し、個に応じた支援へつなげることができました。

取り組みー6 教職員の資質向上

- ・ 教職員の資質向上のため、次の取り組みを行いました。

① より・Eスーパーアドバイザー事業

教育技術に優れた退職教員3名が「より・Eスーパーアドバイザー」として各小学校を巡回し、授業参観、チームティーチングによる授業、教材研究、師範授業といった指導を行いました。

この事業により、教材研究のポイントや授業後の指導により若手教員の指導力向上が図られました。また、これまで指導力向上の取り組みは勤務時間外で実施していましたが、スーパーアドバイザーの配置により教員の負担軽減が図られました。

② 学力向上推進委員会の取り組み

夏期休業中に模擬授業研修会や授業づくり研修会、より・E授業を創る研修会を行い、教員の授業力向上に努めました。

③ 指導委員制度の取り組み

町内小中学校において各教科領域で指導力のある教職員を指導委員として委嘱し、各校の授業研究会で指導者としてその力を発揮してもらいました。北部教育事務所の学校訪問（授業と分科会）に指導委員を参加させることで指導委員の指導力を更に向上させるように努めました。

④ 研究委嘱事業の取り組み

研究委嘱事業として、学習指導の研究を1校（城南中学校）に委嘱しました。

「学ぶ意欲を高め 確かな学力を育成する学習指導法の研究」を研究主題とし、アクティブ・ラーニングを様々な場面で取り入れるなど、授業改善に努めました。

取り組みー7 学校情報通信機器の更新・充実

- ・ ICTを活用した教育環境を整備するため、次の取り組みを行いました。

① 学校情報通信機器整備事業

パソコン等の情報機器について、男衾中学校の生徒用パソコンの更新を行いました。なお、生徒が教室で使用する機器は、機能的な使いやすさを重視してタブレットパソコンを導入しました。

取り組みー8 学校図書館の充実

- ・ 学校図書館の充実のため、次の取り組みを行いました。
次のとおり、新たに学校図書館用図書を購入しました。

(単位：冊、千円)

	購入冊数	金額	標準冊数	蔵書数
小学校	750	1,187	44,080	43,787
中学校	19	31	28,640	28,453

取り組みー9 学校教材の充実

- ・ 学校教材の充実のため、次の取り組みを行いました。

① デジタル教科書導入

授業で活用するため、小学校の算数・社会、中学校の数学・社会においてデジタル教科書を導入しました。教科書を電子黒板やデジタルテレビに表示することで、児童生徒の視覚に訴え、理解を助けることができたと考えます。

また、多様な資料によって話し合いが展開しやすくなり、児童生徒が主体的な学び、対話的な学び、深い学びができる授業が展開され、アクティブ・ラーニングの推進につながりました。

② その他教材の購入

児童生徒の学習に必要な教材を新たに購入しました。

取り組み－１０ 子供たちの安全・安心の確保

- ・ 子供たちの安全・安心を確保するため、次の取り組みを行いました。

① 小・中学校ブロック塀安全対策工事

大阪府内で起きた小学校ブロック塀倒壊事故を受けて、町内小中学校のブロック塀等の撤去や改修を行い、通行者等の安全確保を図りました。

平成３０年度に実施した工事

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
寄居小	ブロック塀安全対策工事	ブロック塀・フェンス撤去工 ネットフェンス新設工 L=32.9m	3,516
折原小	〃	ブロック塀撤去工 L=3.6m	
男衾中	〃	ブロック塀・フェンス撤去工 ネットフェンス新設工 L=50.8m	

② 通学路安全対策事業

学校における交通安全教室の実施や登下校時の安全指導、学校応援団やスクールガードリーダー等、保護者や地域の方による登下校時の見守り活動などにより、交通事故防止や不審者対策に努めました。

取り組み－１１ 学校施設の耐震化の推進

- ・ 児童生徒の安全確保と災害に強い避難所として整備するため、次の取り組みを行いました。

① 学校施設整備事業

地域の防災拠点でもある小・中学校の屋内運動場や武道場について、照明器具やバスケットボールゴールなどの非構造部材が落下しないよう耐震対策工事を実施しました。

平成30年度に実施した工事

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
用土小 男衾小 寄居中 城南中 男衾中	屋内運動場非構造部材耐震工事	落下防止工 【小学校屋内運動場】 照明器具 62箇所 バasketボールゴール 4対 スピーカー 8箇所 等 【中学校屋内運動場】 照明器具 91箇所 バasketボールゴール 9対 スピーカー 21箇所 等 【中学校武道場】 照明器具 60箇所 スピーカー 10箇所 等	16,686

取り組みー12 学校施設の長寿命化

- ・ 学校施設の長寿命化のため、次の取り組みを行いました。

① 学校施設整備事業

国の交付金を活用して、老朽化が進んでいた寄居小学校のトイレ改修工事を実施し、衛生環境の向上及び施設の長寿命化を図りました。

学校施設・設備等の安全確保のため、老朽化に伴う不良箇所及び法定点検での指摘箇所の修繕等を実施しました。

小学校における主な施設整備事業

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
寄居小	トイレ改修工事(国庫補助事業)	建築・電気・機械工 一式 校舎 13箇所 屋内運動場 2箇所	88,344

中学校における主な施設整備事業

(単位：千円)

学校名	事業名	事業内容	事業費
寄居中	放送設備更新工事	音声調整卓更新工 一式	1,134
城南中	インターホン更新工事	壁掛型通話器更新工 21台 卓上型通話器更新工 4台	1,296

取り組みー 1 3 男衾中学校の建替え事業の推進

- ・ 男衾中学校の建替え事業の推進のため、次の取り組みを行いました。
- ① 男衾中学校の建替えに関し、建替え準備作業の円滑な実施に資するため、昨年度に引き続き、男衾中学校建設準備検討委員会で検討しました。平成30年度においては、施設一体型の小中一貫教育の先進地である湯沢学園（新潟県南魚沼郡湯沢町）への視察を含め、検討委員会を5回開催しました。平成31年1月には、検討委員会から「寄居町立男衾中学校の建替えに関する提言書」が教育委員会に提出されました。

また、男衾中学校建替調査・検討業務として、男衾中学校建設準備検討委員会の会議における検討資料及び今後の計画の基礎資料の作成業務を委託しました。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
男衾中学校建替調査・検討業務委託	・学校運営上の課題・改築移転等の整理 ・児童生徒数の将来予測 ・男衾小・中学校敷地の現況面積測量 ・男衾中学校建設準備検討委員会における資料の作成 等	3,219

取り組みー 1 4 学校給食の充実

- ・ 学校給食の充実のため、次の取り組みを行いました。

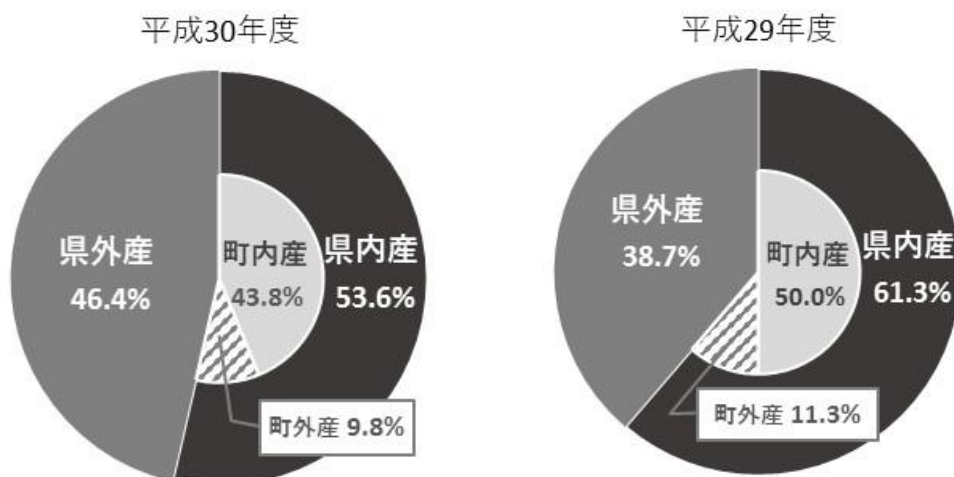
① 給食センター運営事業

児童生徒の適切な栄養摂取による健康の保持増進などを図るため、小・中学校に、それぞれ年間186回（1日約2,450食）の給食を実施しました。

また、安全・安心な給食を提供するため、給食従事者を対象に給食衛生講習会、安全運転講習会、健康状態確認などを実施しました。

給食の食材については、野菜類をJAふかや男衾直売所を通じて発注し、地元産野菜の積極的な使用に努めました。

地元産野菜の割合



食育の推進については、栄養教諭が児童生徒及び保護者等に対して「食」に関する指導を行い、健全な食生活を実践する大切さを伝えました。

また、自分たちの住むまちの歴史や文化を知り、郷土愛を育むことを目的として、「煮ぼうとう」やオリジナルメニューの「トントロリンスープ（豚肉入りのとろみ付きスープ）」等を提供しました。加えて、姉妹都市である小田原市や八王子市との給食メニューのレシピ交換や、当町と交流の深いブータン王国の料理「パクシャパ（豚肉と大根のスープ）」を給食メニューに取り入れ、寄居町と関係する都市や国の食文化について、児童生徒の理解を深めました。これらの献立については、献立表や給食だよりを通じて保護者にお知らせしました。

給食における食物アレルギーについては、引き続きすべての児童生徒の保護者に食物アレルギー献立表を配布して情報提供を行いました。また、食物アレルギーのある児童生徒の保護者に対して個別面談を行い、対応を決めるとともに、アレルギー献立表の活用について栄養教諭による個別指導を行いました。

調理業務委託業者に食中毒防止の徹底を指導し、調理場と来客用トイレのフロア分けの強化等、衛生管理に努めました。

② 給食センター施設維持管理事業

安定した給食の提供のため、施設の維持管理にも努めました。

主な修繕状況

(単位：千円)

事業名	事業費
プレハブ冷凍庫修繕	962
厨房機器部品交換修繕	888
調整槽及び接触ばっ気槽配管交換修繕	853
コンテナ乾燥機系統蒸気配管ピット内漏れ修繕	616

取り組みー15 学校運営の改善

- ・ 学校と地域が力を合わせて特色ある学校づくりを進める仕組みとして、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を導入しました。学校毎に3～4回、延べ30回の会議を開催しました。教育課程の編成に関することや学校経営計画に関することの承認をいただいたり、児童生徒や授業についての意見をいただいたりすることで、学校運営の改善を図りました。

取り組みー16 就学援助制度の推進

- ・ 子育て世代の経済的負担を軽減するため、次の取り組みを行いました。

① 学校教育振興事業

経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に対して就学援助費等の制度の趣旨を周知し、学用品費等の支給を行いました。

なお、就学援助費については、平成29年度から従来の支給費目に新入学に必要な学用品購入のための新入学準備費を加え、入学前の3月に支給できるようにしました。

就学援助費等支給人数・支給額

(単位：人、千円)

区 分		平成 30 年度	平成 29 年度	増 減
要保護及び準要保護児童 就学援助費（小学校費）	人数	166	158	8
	支給額	9,512	8,862	650
要保護及び準要保護生徒 就学援助費（中学校費）※	人数	95	107	△12
	支給額	9,894	12,001	△2,107
合計	人数	261	265	△4
	支給額	19,406	20,863	△1,457

※ 平成 29 年度は被災生徒就学援助費を含む

就学奨励費支給人数・支給額

(単位：人、千円)

区 分		平成 30 年度	平成 29 年度	増 減
特別支援教育就学奨励費 （小学校費）	人数	16	17	△1
	支給額	486	464	22
特別支援教育就学奨励費 （中学校費）※	人数	7	10	△3
	支給額	391	426	△35
合計	人数	23	27	△4
	支給額	877	890	△13

※ 平成 29 年度は被災生徒特別支援教育就学奨励費を含む

② 私立幼稚園就園奨励費補助事業

私立幼稚園に子供が通う保護者の経済的負担を軽減するため、就園奨励事業を以下のとおり実施しました。

(単位：人、千円)

区分	平成30年度	平成29年度	増 減
人数	182	161	21
支給額	24,866	20,385	4,481

③ 修学資金補助事業

修学意欲を有しながら経済的に修学が困難な高校生に、以下のとおり学資金援助を行いました。

(単位：人、千円)

区分	平成30年度	平成29年度	増減
人数	53	47	6
支給額	3,120	2,740	380

④ 給食費補助事業

多子世帯の経済的負担の軽減によって子育てを応援することを目的として、第3子以降の児童生徒に対する給食費補助を実施しました。

(単位：人、千円)

区 分		平成30年度	平成29年度	増減
小学校	人数	181	172	9
	補助額	7,929	7,513	416
中学校	人数	38	46	△8
	補助額	2,074	2,505	△431
合計	人数	219	218	1
	補助額	10,003	10,018	△15

施策2 生涯学習環境の充実

取り組み-1 学習講座の開催

- 生涯学習環境の充実のため、学習講座の開催など次の取り組みを行いました。
 - ① 町民の文化の振興を目的に社会教育の場を提供するため、以下の事業を実施しました。

「まちづくり出前講座」実施状況

区 分	実施回数 (回)	受講者数 (人)
平成30年度	30	720
平成29年度	31	873
増 減	△1	△153

取り組み－２ 子どもたちの夢への支援（芸術・文化活動）

・子どもたちの夢への支援のため、次の取り組みを行いました。

- ① 芸術・文化活動を通じ、子どもたちの夢の発見や実現につながる場を提供する「子ども大学よりい」を開催しました。

区分	内 容	延べ参加者数（人）
平成 30年度	落語の実演に挑戦！（１日） 陶芸を学ぼう（２日） 沖縄（八重山地方）の文化と沖縄三線について（１日）	69
平成 29年度	陶芸を学ぶ ・人間国宝美術館の作品に触れる（１日） ・自身で陶芸作品を創る（２日） 異文化を学ぶ ・沖縄三線を奏でる（１日）	79
増 減		△10

取り組み－３ 図書館の充実

・ 図書館運営事業として、次の取り組みを行いました。

こどもの読書習慣を身に付けるきっかけ作りを目的に、平成28年度から町内小学生向けに配布していた読書記録帳の「読書通鳥」を低学年の児童にも利用しやすいようサイズをB5判と大きくし、児童が読書を通じて成長するというストーリー性を持たせた「読書通鳥」を全児童に配布しました。

- ① 日常開館業務

項 目	平成30年度	平成29年度	増減率(%)
入館者数	82,771人	94,942人	△12.8
有効登録者数	5,182人	5,384人	△3.8
貸出人数	52,231人	54,236人	△3.7
貸出点数	250,186点	262,788点	△4.8

※開館日数 平成29年度291日、平成30年度288日

※有効登録者数：年度内に図書館資料の貸出を受けた登録者数

② 図書館資料の整備・充実

項 目		平成 30 年度	平成 29 年度	増減率 (%)
図書の受入	購入冊数	4,725 冊	4,934 冊	△4.2
	寄贈冊数	1,416 冊	2,376 冊	△40.4
寄居関連図書の受入		90 冊	204 冊	△55.9
視聴覚資料の受入	購入点数	93 点	103 点	△9.7
	寄贈点数	1 点	1 点	0.0
雑誌の受入	購入等冊数	2,466 冊	2,443 冊	0.9
除籍冊数	図書及び 視聴覚資料	221 冊	2,727 冊	△91.9
	雑誌	1,830 冊	1,467 冊	24.7
蔵書冊数（年度末）	図書及び 視聴覚資料	185,965 冊	179,861 冊	3.4
	雑誌	24,733 冊	24,097 冊	2.6
新聞の受入（紙数）		11 紙	11 紙	0.0
フリーペーパーの受入（タイトル数）		22 点	25 点	△12.0

③ 移動図書館の運行

項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	増減率 (%)
移動図書館	168 回	167 回	0.6
	41,348 冊	45,251 冊	△8.6

④ 図書館利用促進事業

項 目	平成 30 年度	平成 29 年度	増減率 (%)
図書館関連記事の新聞掲載	6 回	4 回	50.0
施設見学	9 件 (9 日間)	11 件 (11 日間)	△18.2
	339 人	340 人	△0.3
職場体験、インターンシップ	3 件 (9 日間)	2 件 (6 日間)	50.0
	30 人	18 人	66.7
一日こども司書体験	5 人 (2 日間)	11 人 (3 日間)	△54.5

⑤ 児童生徒への貸出冊数

項 目		平成 30年度	平成 29年度	増減率(%)
町内児童・生徒 1人当たりへの 平均年間貸出 図書館資料数	小学校1～3年児童	31.4冊	34.1冊	△7.9
	小学校4～6年児童	13.6冊	15.3冊	△11.1
	中学校生徒	2.5冊	4.0冊	△37.5

⑥ 主催、共催事業

項 目		平成30年度	平成29年度	増減率(%)
おはなし会		21回	21回	0.0
		300人	294人	2.0
映画会	ミニシアター	12回	12回	0.0
		260人	455人	△42.9
	子ども映画会	12回	13回	△7.7
		306人	312人	△1.9
読書講演会		41人	20人	105.0
石に絵を描いてみよう(2回開催)		55人	62人	△11.3
図書館まつり入館者数(3日間)		1,458人	1,386人	5.2
折り紙教室		21人	31人	△32.3
朗読活動(図書館広報誌朗読録音)		4件	3件	33.3
布絵本製作活動		2点	3点	△33.3

取り組みー4 社会教育施設の維持管理

- ・ 社会教育施設維持管理事業として、桜沢コミュニティセンターの屋上防水工事を行いました。

取り組みー5 中央公民館の維持管理

- ・ 中央公民館の維持管理事業として、エレベーター電磁弁コイル等交換修繕、非常用蓄電池交換修繕、ホワイエ照明不点灯箇所修繕などを行いました。

施策3 スポーツ環境の充実

取り組みー1 生涯スポーツの推進

- 生涯スポーツの推進のため、次の取り組みを行いました。

① 学校施設開放運営事業

町民がスポーツに親しめる場や機会を提供するため、小・中学校9校の運動場、体育館、武道場を開放しました。

学校施設開放の利用状況

(単位：件、人)

学校名	平成30年度		平成29年度		利用件数 増減率(%)	利用者数 増減率(%)
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数		
寄居小学校	766	14,137	631	11,066	21.4	27.8
桜沢小学校	485	8,449	314	6,975	54.5	21.1
折原小学校	404	6,518	290	5,613	39.3	16.1
鉢形小学校	263	3,931	193	3,469	36.3	13.3
男衾小学校	473	8,822	439	8,164	7.7	8.1
用土小学校	520	9,921	454	10,589	14.5	△6.3
寄居中学校	270	4,817	390	5,396	△30.8	△10.7
城南中学校	394	4,950	259	5,151	52.1	△3.9
男衾中学校	425	9,328	341	7,140	24.6	30.6
合計	4,000	70,873	3,311	63,563	20.8	11.5

② スポーツ活動推進事業

多くの町民がライフステージに応じた様々なスポーツに親しめるよう、体育協会をはじめスポーツ競技団体と連携し、各種スポーツ大会や体験教室を開催しました。

保健体育事業の概要

(単位：人)

種別	平成 30 年度		平成 29 年度		事業数 増減率 (%)	参加者数 増減率 (%)
	事業数	参加者数	事業数	参加者数		
種目別大会	28	3,582	29	5,641	△3.4	△36.5
審判講習会	3	151	3	171	0.0	△11.7
町体育協会 共催事業	3	1,258	4	1,243	△25	1.2
合計	34	4,991	36	7,055	△5.6	△29.3

また、町民の体力向上と健康増進を図るため、町民健康増進ウィークを設け、プールの無料開放を7月14日から8月5日までの23日間実施し、延べ6,024人の利用がありました。

健康増進ウィーク事業の概要

(単位：人)

施設	平成 30 年度 利用者数	平成 29 年度 利用者数	利用者数増減率 (%)
アクアパラダイス・ パティオ (深谷市)	5,582	5,311	5.1
アクアピア (熊谷市)	442	292	51.4
合計	6,024	5,603	7.5

取り組み－2 スポーツによる町の活性化

- ・スポーツによる町の活性化を図るため、次の取り組みを行いました。
 - ① 平成30年度の駅伝競走大会開催にあたり、駅伝検討委員会を設置し、前年度の運動公園周回コースの見直しを行い、複数の地域を巡ることのできる町内コースを設定し、多くの方が出場しました。
 - ② 全国大会等へ出場した選手の激励と紹介、さらには広く町民へのスポーツ参加意欲の高揚を図るため、庁舎に懸垂幕を掲出しました。

懸垂幕等掲出事業の概要

(単位：本)

種 別	平成 30 年度	平成 29 年度	増減率 (%)
懸 垂 幕	25	12	108.3
横 断 幕	0	0	0
合 計	25	12	108.3

取り組み－3 子どもたちの夢への支援（スポーツ）

・子どもたちの夢への支援のため、次の取り組みを行いました。

- ① 教育委員会と町内施設の指定管理会社との共催事業として、平成30年度は、日本の卓球リーグとして誕生したTリーグの加盟クラブであるT.T彩たまの皆さんを講師として招き、寄居町卓球連盟スタッフの協力のもと、「平成30年度寄居町少年少女卓球教室」を開催しました。卓球教室には約50名の小・中学生が参加し、プロの技術を目の当たりにしながら、フォア・バック打ちの練習やフットワーク等を行いました。最後には選手からサインをもらい、一緒に記念撮影するなど、参加した子どもたちにとって貴重な体験となりました。

取り組み－4 スポーツ施設の充実

- ・ 寄居運動公園維持管理事業として、施設の運動環境整備を実施すると共に、総合体育館維持管理事業として、会議室雨漏り修繕や誘導灯交換などを実施し、施設の機能保全に努めました。

寄居運動公園・総合体育館等の利用状況

(単位：件、人、千円)

施設名	平成30年度			平成29年度			増減率(%)		
	利用件数	利用者数	利用料	利用件数	利用者数	利用料	利用件数	利用者数	利用料
総合体育館・アタゴ記念館	1,927	58,259	164	1,932	66,912	192	△ 0.3	△ 12.9	△ 14.6
寄居運動公園	2,044	31,116	706	2,204	32,488	749	△ 7.3	△ 4.2	△ 5.7
グラウンド	158	9,871	321	171	9,645	272	△ 7.6	2.3	18.0
テニスコート	811	7,232	243	975	7,608	328	△ 16.8	△ 4.9	△ 25.9
カタクリ体育センター	744	7,169	142	728	7,872	149	2.2	△ 8.9	△ 4.7
自由広場	331	6,844	—	330	7,363	—	0.3	△ 7.0	—
寄居小学校夜間照明運動場	104	4,774	0	99	3,150	0	5.1	51.6	0
計	4,075	94,149	870	4,235	102,550	941	△ 3.8	△ 8.2	△ 7.5

取り組みー5 スポーツ活動団体の支援

- ・ スポーツ活動団体の支援のため、寄居町体育協会及び寄居町スポーツ少年団本部への補助金交付や、駅伝競走大会、スポーツレクリエーション大会など、両団体の各種主催事業の運営支援を行いました。

施策4 青少年の健全育成

取り組みー1 地域ぐるみの育成支援

- ・ 地域ぐるみの育成支援として、次の取り組みを行いました。

① 家庭教育支援事業

保護者の家庭教育力の向上と保護者同士のネットワーク形成を図る家庭教育学級及びすこやか子育て講座を実施しました。

「家庭教育学級」の参加者数 (単位：人)

区分	寄居	桜沢	折原	鉢形	男衾	用土	合計
平成30年度	73	209	61	61	114	51	569
平成29年度	77	162	73	44	111	53	520
増減	△4	47	△12	17	3	△2	49

「すこやか子育て講座」の参加者数 (単位：人)

区分	寄居	桜沢	折原	鉢形	男衾	用土	合計
平成30年度	47	24	12	44	55	21	203
平成29年度	40	27	8	49	69	31	224
増減	7	△3	4	△5	△14	△10	△21

すこやか子育て講座の参加者数は平成29年度と比べて減少したものの、対象保護者の99%が参加しました。

② こどもの居場所づくり事業

こどもの居場所づくり支援として、次の取り組みを行いました。

「こどもギネス大会」(なわとび)の参加者数 (単位：人)

区 分	前とび	前二重	後とび	こうさ	前三重	集団	8の字	合計 (延べ数)
平成30年度	342	98	59	42	3	431	501	1,476
平成29年度	430	191	184	105	7	514	521	1,952
増 減	△88	△93	△125	△63	△4	△83	△20	△476

「子ども博士検定」の参加者数 (単位：人)

区 分	寄居	桜沢	折原	鉢形	男衾	用土	合計	博士
平成30年度	5	9	4	4	10	3	35	2
平成29年度	4	4	4	6	7	2	27	6
増 減	1	5	0	△2	3	1	8	△4

③ 社会教育団体支援事業

社会教育団体への支援として、次の団体に補助金を交付し、それぞれ青少年健全育成に関する事業が行われました。

青少年健全育成事業の取り組み

団体名	取り組み	成果
寄居地方ユネスコ協会	「第13回わたしの町のたからもの」絵画展	380点出品 53点入選
寄居町PTA連合会	家庭教育委員会 進路対策委員会	2回 2回
寄居町青少年健全育成町民会議	青少年の非行・被害防止特別強調月間キャンペーン 視察研修会(埼玉学園) 道徳講演会・実践発表会	115人参加 啓発品1,200個配布 10人参加 310人参加
青少年健全育成協議会(3中学校区)	防犯パトロール 祭り巡視活動 教育講演会	通年 5回 6回

取り組み－２ いじめ対策の強化

- ・ いじめの未然防止や早期発見、いじめに対する措置等のため、次の取り組みを行いました。

① いじめ問題対策連絡協議会の実施

いじめ問題対策連絡協議会を２回実施し、いじめ問題に対する各校の取り組みについての情報交換や「いじめの問題に関する指導者養成研修」への参加者によるいじめ問題に関する最新情報の伝達を行うことで、いじめ問題に対する認識の共有化を図るとともに各校の取り組みを見直すきっかけとすることができました。

② いじめ問題把握調査の実施

いじめの早期発見、早期対応のために、各学校で「いじめ問題把握調査」を行いました。調査結果は、毎月教育委員会に報告書が提出され、いじめが解消されるまで見届けを行いました。

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「活躍の場の充実」

【異なる国や地域、文化との交流を図り、そこで培われた町民の力を地域の課題解決に活かす場を充実させます。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「1. 確かな学力の育成とグローバル化に対応できる英語教育の推進」

「4. 家庭・地域と連携し絆を深める教育活動の推進」

「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

施策1 多様な人の活躍・地域貢献活動の支援

取り組みー1 ボランティアの人材育成

- ・ 鉢形城公園内の案内をするボランティア案内人の活動実績は次のとおりで、利用団体数は減少していますが、依頼者の評価が高く、指名を受ける案内人もいます。

ボランティア案内人による案内解説活動状況 (単位：団体、人)

項目	平成30年度	平成29年度	増減
利用団体数	77	86	△9
利用人数	1,865	1,913	△48
案内人出役総数	133	160	△27

取り組みー2 寄居うん蓄の発掘・ストック

- ・ 分野を問わず、優れた知識・技能・経験・文化的素養等を郷土寄居の文化振興のため、奉仕の精神をもって他者に伝える意欲のある人を発掘・ストックするこ

とを目的に、寄居生活学の達人の登録と更新手続きを行いました。

(単位：人)

区分	新規登録者数	更新前人数	更新後人数
平成 30 年度	1	38	39

施策 2 地域間交流・国際交流の推進

取り組みー1 メアリスビル市との交流

- ・ 米国メアリスビル市との交流として、次の取り組みを行いました。

① 中学生海外相互交流事業

米国オハイオ州メアリスビル市へ町の生徒を派遣し、米国の文化や教育に対する理解を深めてもらうため、現地でのホームステイや様々な体験等を行いました。また、帰国後に報告会を実施し、生徒の経験を発表する場を設けました。

派遣期間	8月17日(金)～26日(日) 10日間
応募人数	56人(寄居中26人、城南中9人、男衾中19人、私立2人)
選考内容	日本語作文、英語及び日本語面接による採点
派遣団	町内中学生10人 ※学校別：寄居中4人、城南中0人、男衾中6人、私立0人 ※学年別：1年生0人、2年生3人、3年生7人 引率：男衾中教諭・町職員2人
体験内容	ホームステイ、学校見学、授業体験、クラブ活動見学、市役所見学等市内外見学、フットボール観戦
帰国報告会	10月26日(生徒の個人発表、グループ発表)
報告書	110部作成 配布先：参加生徒、町内小中学校、町議員、教育委員、社会教育委員、PTA会長、オリックス資源循環株式会社、メアリスビル市 等

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「一人ひとりを尊重する地域づくり」

【一人ひとりがお互いの権利を尊重し、性別・年齢・国籍・障害の有無などによるバリアを感じることなく、自分らしく社会に参画できる地域づくりを進めます。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「2. 豊かな心と健やかな体の育成」

施策1 人権尊重と相互理解の促進

取り組みー1 人権教育・啓発の推進

- ・ 人権尊重社会の実現に向け、人権に対する正しい理解を深めるため、次の取り組みを行いました。

① 人権教育推進事業

同和教育をはじめとする人権教育の推進、人権尊重精神の高揚のため、人権教育推進協議会を中心に以下の研修会や講演会を実施しました。

人権教育研修会参加者数

(単位：回、人)

研修名	平成30年度		平成29年度		参加者増減
	回数	参加者	回数	参加者	
人権教育指導者養成講座	1	114	1	108	6
地区別人権教育研修会	16	702	16	714	△12
教職員人権教育研修会	10	254	11	316	△62
対象者別人権教育研修会等	7	346	10	450	△104
合計	34	1,416	38	1,588	△172

② 集会所運営事業

集会所事業において、小・中学生学級では、教科学習、人権学習、体験学習及び大里郡子ども会スポーツ交流会への参加を通じた学力向上や仲間づくりにより、人権を大切にする児童生徒の育成に努めました。

また、女性学級では、教養文化の向上と地域・世代間交流を深めるため、健康教室や生け花教室、3B体操を実施しました。

集会所事業実施回数及び参加者数 (単位：学級、回、人)

	事業名	学級数	実施回数	参加者
平成 30年度	集会所学級 (小学生、中学生、女性)	6	119	914
平成 29年度	集会所学級 (小学生、中学生、女性)	6	117	1,064
増減		0	2	△150

③ 人権教育研究委嘱事業の取り組み

研究委嘱事業として、人権教育を2校（用土小学校・折原小学校）に委嘱しました。研究は全教科で実施し、「深く学び、自他を大切にし、よりよく行動できる児童の育成」を研究主題とし、人権が尊重される学校づくりに取り組みました。

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「歴史の継承、文化の振興」

【史跡や文化財などの歴史資源の保護とともに、祭りや伝統行事を継承し、歴史や文化的な豊かさを感じられるまちを目指します。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

施策1 歴史資源の保護・継承

取り組みー1 歴史と文化を活かしたまちづくり

- ・ 歴史と文化を活かしたまちづくりを進めるために、文化財を次のとおりに適切に保存・管理しました。また、史跡鉢形城跡の全体測量及び伝逸見曲輪の確認調査を実施し、鉢形城跡の解明の一助とすることができました。

① 町内遺跡発掘調査事業

開発行為等に伴う試掘調査の結果と保護措置

(単位：件)

試掘調査	結果	保護措置	内容
47	遺構等検出 18	発掘調査の指示 7	発見された遺構等の現状保存が不可能なため発掘調査
		工事立会いの指示 11	発見された遺構等を保存するために必要な措置を講じた上、工事立会い
	遺構等未検出 29	慎重工事の指示 29	遺構等が発見されなかったため、慎重工事

発掘調査件数

内 容	発掘調査遺跡名	件数
記録保存のための発掘調査	塚田遺跡(1~4次)・鉢形東遺跡(4次) 遺跡・東伴場地遺跡(9次)	6
遺跡範囲確認調査	史跡鉢形城跡	1

報告書刊行にかかる業務

内 容	発掘調査遺跡名	件数
発掘調査結果の整理及び報告書刊行	・中平遺跡(2次)刊行 ・寄居廃寺(6・7次)、東伴場地遺跡(8次)整理作業	1

取り組みー2 鉢形城公園の維持管理・活用

- ・ 鉢形城公園を活用し、地域へ愛着と誇りを持ってもらえるよう、次の取り組みを行いました。また、史跡鉢形城跡の確認調査成果を公表するため、現地説明会を開催し、鉢形城の魅力をアピールしました。

普及活動

(単位：人)

名 称	参加者数	内 容
若葉の会	211	鉢形城歴史館中庭で、生田流箏の会と裏千家高橋宗房社中と共催で箏の演奏と野点を開催
お月見の会	約 500	鉢形城公園三の曲輪で、生田流箏の会・琴古流康風会と裏千家高橋宗房社中と共催で箏と尺八の演奏と野点を開催。また開催に合わせ、ボランティア案内人による城内案内を実施しました。
現地説明会	200	鉢形城跡発掘調査の成果を公表するために、現地説明会を開催
体験教室	25	小学校の夏季休暇期間中に合わせて、勾玉づくり体験を実施
エドヒガンザクラのライトアップ	—	町指定天然記念物「鉢形城の桜・エドヒガン(氏邦桜)」の開花に合わせ、3月20日から4月10日まで夜間にライトアップを実施

取り組み－3 史跡鉢形城跡保存整備の推進

- ・ 史跡鉢形城跡保存整備の推進のため、次の取り組みを行いました。

鉢形城跡保存整備事業

事業名	回数	内 容
鉢形城跡発掘調査指導委員会	2	伝逸見曲輪の確認調査方法等について指導をいただいた。
		土橋が数回にわたって堀を埋めて作られていることが判明した。

取り組み－4 鉢形城歴史館の管理・運営

- ・ 鉢形城歴史館の魅力ある展示やイベントの開催など管理運営を行いました。

鉢形城歴史館利用状況

項目	平成 30 年度	平成 29 年度	増減
入館者数（人）	17,322	18,602	△1,280
有料入館者	10,632	13,222	△2,590
無料入館者	6,690	5,380	1,310
入館料（円）	2,040,400	2,517,500	△477,100

企画展

（単位：人）

展覧会名	内 容	期 間（日間）
鉢形城その後 — 開城後の 鉢形城 —	開城後の鉢形城をテーマに城跡や県内の陣屋などの出土品や、昌国寺の旗本水野家ゆかりの資料などを展示	平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 5 月 13 日
		入館者数 3,538
コーナー展示	平成 29 年度鉢形城跡伝逸見曲輪確認調査成果を公表	平成 31 年 3 月 14 日～ 平成 31 年 3 月 31 日
		入館者数 1,244

施策2 伝統文化の継承

取り組み-1 地域の伝統行事の保護・継承

- 地域の伝統行事の保護・継承のため、次の補助事業を行いました。

町指定文化財補助事業

補助金名称	補助団体数	内容
寄居町指定文化財管理等補助金	5	町指定無形民俗文化財の後継者育成と伝承確保のために、同文化財の保存会等へ補助金を交付
寄居町指定文化財管理等補助金	1	県指定天然記念物「ゴヨウツツジの自生地」の公開環境の維持管理のために補助金を交付

施策3 文化活動の充実

取り組み-1 合同開講式の開催

- 生涯学習機会の向上を図るため、公民館講座事業として合同開講式をはじめ、町民の要望に応じた各種講座・教室を開催しました。

講座・教室等の概要

種別	講座・教室数	参加者(人)	事業費(千円)
I T	4	172	140
音楽	2	126	75
外国語	2	452	200
料理	4	224	70
芸術・文化	6	313	149
子育て支援	2	36	10
健康増進	7	546	190
合計	27	1,869	834

取り組み－２ 文化講演会の開催

- ・ 文化活動の充実のため、次の取り組みを行いました。

① 文化事業

事業名	内容	成果
文化講演会	6月3日 中央公民館 熊谷真実 ※ふるさと大使 「笑顔から始めよう」	432人参加

② 公民館運営事業

中央公民館の年間利用状況は、以下のとおりです。

中央公民館利用状況 (単位：件、人、千円)

	利用件数	利用者数	使用料
平成30年度	3,253	75,298	1,190
平成29年度	3,119	68,454	835
増減	134	6,844	355

取り組み－３ 文化活動団体への活動支援

- ・ 文化活動団体への活動支援のため、次の取り組みを行いました。

① 文化団体支援事業

文化団体連合会と文芸懇話会について、団体の活動支援として会の運営に必要な補助金を交付しました。

事業名	内容	成果
文化団体連合会支援事業	加盟団体の活動の集約として 文連たより(53号)の発行 産業文化祭参加	700部発行 9団体参加 406点出品
寄居文芸懇話会支援事業	寄居文芸の発行(124～126号)	1020部発行

② 公民館運営事業

生涯学習まつり参加団体及び利用団体協議会加盟団体数 (単位：団体)

	作品展示	ステージ発表	合 計	加盟団体
平成 30 年度	42	63	105	61
平成 29 年度	39	63	102	60
増 減	3	0	3	1

第6次寄居町総合振興計画における基本方針

「自然資源の保全・継承」

【美しい山並み、水の循環、多様な動植物の生息・生育環境など、町の誇りであり貴重な財産である豊かな自然環境を保全・継承します。】

○ 寄居町教育行政重点施策における位置付け

「5. 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」

施策1 自然環境の継承

取り組みー1 健全な自然環境・緑の保全

- ・ 自然環境保全のため、ミミカキグサやモウセンゴケの生育環境保全を行った。

天然記念物保護増殖事業

名 称	内 容
県指定天然記念物「ミミカキグサとモウセンゴケ自生地」保護事業	環境整備作業

株数の変化

区 分	モウセンゴケ株数	自生面積(m ²)	自生圃場数
平成30年度	13	0.5	3
平成29年度	68	0.5	33
増 減	△55	0	△30

IV 結びに

識者の評価並びに意見・提言（識者：関根 正巳 氏）

1 はじめに

寄居町教育委員会の事務に関する点検・評価報告書は、寄居町総合振興計画の基本方針を踏まえた寄居町教育行政重点施策に従い、施策・取り組みごとに実施状況と成果がまとめられ、見やすく、分かりやすいものになっています。また教育委員会の施策はその数が多いにもかかわらず、どれも意欲的できめ細やかに取り組んでいる姿勢が伺え、高く評価できます。

2 学校教育について

現在は小中学校とも新学習指導要領全面実施への移行期間にあり、寄居町では「真の学ぶ力を身につけた未来を拓く人づくり」をめざして新学習指導要領の趣旨を生かした事業が力強く展開されていることが分かります。「放課後サポートスクール事業」・「土曜サポートスクール事業」・「中学校英語検定無償化事業」など町独自の事業で児童生徒が持てる力を伸ばせる環境づくりが、さらに推進されることを期待しています。

健やかな体づくりも学校教育の中核をなしていますが、平成20年から11年連続で寄居町の児童生徒の体力が、埼玉県のトップクラスにあることは喜びでもあり驚きです。朝食摂取率向上や望ましい生活習慣への取り組み、体育の授業・部活動などの成果と思われませんが、児童生徒に自信を持たせ、保護者や地域への理解と支援へつながることが肝要です。引き続き良い成果が得られることを期待しています。また、「部活動指導員の配置」は部活動の充実を図りつつ、国の働き方改革とも関連している事業です。さらに充実させてください。

インクルーシブ教育の推進が、力強く確実に進められていることにうれしく思いました。幼保小の円滑な引き継ぎ、学習支援・介助サポーターの充実、WISC検査（どういう教え方がその子にとってベストなのかの方向性を示す検査）などにより、個に応じた支援が行われており評価できます。

学校教育を推進するには教職員の資質向上が欠かせません。「より・Eスーパーアドバイザー事業」で教職員研修の要である授業参観・チームティーチング・指導案づくり・教材研究などが効果的に推進されています。これまでの学力向上委員会や指導

委員制度にもしっかり取り組まれていますので、若手からベテランまでの資質向上に繋がっています。また、学校情報通信機器の充実、学校図書館の充実、学校教材の充実は児童生徒の理解力向上や教職員の指導力向上に欠かせない事業ですので、効率的な予算の執行に留意しながら更なる充実を望みます。

学校給食も子供たちの健康に関わる重要な事業です。郷土の味を知り、寄居町と関係の深い地域の料理を理解できる給食は評価できます。地元産野菜の積極的な使用で安心安全な給食を推進してください。寄居町のおいしい給食は、子供たちの記憶に残ります。

3 生涯学習について

寄居町教育委員会の生涯学習は、公民館事業や生涯スポーツ事業はもとより、子供たちの夢への支援に特徴があり、高く評価できる場所です。「子ども大学よりい」では、芸術文化活動を通じて夢への支援の場を提供しています。町立図書館では、「読書通鳥」を全小学生に配布して読書習慣づけに取り組んでいます。おはなし会・ミニシアター・子ども映画会・図書館まつりなども充実させ、生涯学習のスタートにある子供たちの夢への更なる支援をお願いします。

青少年の健全育成についても、「こどもギネス大会」・「子ども博士検定」など町独自の子供たちの居場所づくりの支援事業が取り組まれました。子供の数は減り続けていますが、スポーツ少年団の育成や家庭教育学級の充実も必要と考えます。

公民館やコミュニティセンターには、多様化する町民の学習ニーズに応える事業がたくさんあります。町民の学習要求に対して幅広い分野の文化や教養を学ぶ様々な講座が用意され、多くの方が受講していることは素晴らしいことです。学習することで脳の活性化が促され、認知症の予防になるなど、高齢化社会においても生涯学習は重要な位置を占めます。学習機会の提供と創意工夫を期待します。

平日の昼間の学校グラウンドは子供たちの活動や歓声で埋まり、休日のグラウンドや夜間の体育館には生涯スポーツに汗を流す人々がたくさん集まります。2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、生涯スポーツの役割や機能はより期待度が増しています。スポーツは個人の趣味や健康増進のためだけでなく、町民同士の交流・地域のコミュニティの活性化にも繋がると考えます。あらゆる世代の方がそのエネルギーを結集できる場があることが肝要です。

寄居町は清流と歴史の町といわれるように文化財や歴史資源が豊富です。特に、鉢形城跡と鉢形城歴史館については、情報発信基地としての学術的な観点と観光的な観点から町の内外に向けての積極的なPRと参加・利用しやすい環境の整備が必要で

す。

寄居町総合振興計画基本構想の基本目標にある「夢と創造力にあふれ未来を拓く人を育むまち、悠久の歴史と爽やかな自然の中で豊かさを感じられるまち」づくりには教育委員会の事業・事務が大きく関わるものと思われます。先見性と更なる創意工夫で笑顔満タンの寄居町になって行くことを望んでいます。

教育委員会としてのまとめ

令和元年度教育委員会の事務に関する点検・評価（対象年度：平成30年度）に当たっては、関根正巳氏（元寄居中学校長）にご意見をいただきました。ご多忙の中にも関わらずお引き受けいただき、心から感謝申し上げます。

今回は、平成29年度からスタートし2年目を迎えた「第6次寄居町総合振興計画基本構想」の施策に沿って、教育委員会が「真の学ぶ力を身につけた 未来を拓く人づくり」を基本理念として展開したさまざまな事業について、丁寧に評価をしていただきました。

学校教育では、町独自に取り組む「土曜サポートスクール事業」や「中学校英語検定無償化事業」について、児童生徒の確かな学力の育成と英語教育の推進を図る施策として期待されているとの評価を受け、引き続き児童生徒や保護者、学校との連携を推進するとともに、アクティブ・ラーニングを取り入れ、児童生徒が主体的・対話的に深い学びができるようにしてまいりたいと考えております。また、学校現場における教職員の資質向上についても「よりE・スーパーアドバイザー事業」や「指導委員制度」などを活用した若手からベテランまでの全ての指導力向上に不可欠との意見をいただきました。今後とも師範授業や教材研究などを通して、町全体の指導力向上が図られるよう努めてまいります。

生涯学習では、子供たちの夢への支援についてご意見をいただきました。「子ども大学よりい」や「読書通鳥」などの芸術文化活動やトップアスリートによるスポーツ指導は、子どもたちの夢の実現に大きな支援になると考えられます。また史跡鉢形城跡については、文化財や観光資源として重要な財産であり、積極的な情報発信と利用しやすい環境整備についてご意見をいただきました。関係各課との連携を図り改善に努めてまいります。

今回いただいた評価やご意見等は、今後の教育施策の事業展開に反映するよう努めてまいります。

令和元年度 教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

作成：寄居町教育委員会

電話048-581-2121（代表）